

令和6年度 あきたサステナビリティスクール 自己点検・評価について

評価項目	実施組織による自己点検・評価	自己点検に基づく運営・評価委員会の評価
<p>教育課程 (プログラムの実施状況、カリキュラム、講義内容等)</p>	<p>令和6年度はスクール科目A群36時間、スクール科目B群19.5時間の講義を全てオンデマンド配信し、フィールド研修(実地研修)を2回、課題研究はオンラインミーティング及び発表会(ハイブリッド方式)を実施した。</p> <p>アンケートでは実施内容について「再生可能エネルギーについて全般的にーから学べる」「秋田という地域を題材にリアルな情報と専門性の高い講師陣によって導かれる学び」「世代を超えた異業種の受講生との交流で知見を広げることができた」「オンデマンド講義は時間に束縛されることなくいつでも何度でも学習できた」「課題に取り組むことでより深く理解できた」等の回答があり、満足度も高かったことから受講生のニーズに合致していると考えられる。</p> <p><令和6年度 講義アンケート及び修了生アンケート結果></p> <ul style="list-style-type: none"> ■オンデマンド講義について <ul style="list-style-type: none"> ・大変満足 33% ・おおむね満足 56% ■授業内容は興味深いものであったか(全科目集計結果) <ul style="list-style-type: none"> ・そう思う 73.8% ・どちらかといえばそう思う 24.8% ■フィールド研修の実施内容について <ul style="list-style-type: none"> ・大変満足 45% ・おおむね満足 33% ・不参加22% ■サステナビリティスクール課題研究実施内容について <ul style="list-style-type: none"> ・大変満足 33% ・おおむね満足 56% ・どちらとも言えない 11% 	<p>アンケート結果から、オンラインを活用した社会人が受講しやすい環境が整えられ、受講生の期待に応える学びの機会を提供できていると判断できる。</p>
<p>教育成果 (人材育成効果：身に付ける能力を修得したか。)</p>	<p>令和6年度は9名が修了要件を満たし修了した。本スクールでは全科目にレポート等の課題を課して総合的な達成度の評価を行っており、アンケート結果からも受講生が十分な知識・スキルを獲得できたものと考えられる。</p> <p><令和6年度 講義アンケート及び修了生アンケート結果></p> <ul style="list-style-type: none"> ■授業を受けたことで新しい知識や考え方が身についたか。 <ul style="list-style-type: none"> ・そう思う71.8% ・どちらかといえばそう思う27.2% ■受講内容は自身の期待した能力の習得に役立つものとして満足できたか。 <ul style="list-style-type: none"> ・大変満足 44% ・おおむね満足 56% ■受講したことによってどのような効果があったか。【複数回答】 <ul style="list-style-type: none"> ・業務に必要な専門知識や技能などを習得できた(8名) ・業務の質の向上に役に立った(5名) ・趣味・教養を深めることに役に立った(4名) ・学習意欲が高まった(6名) ・その他(2名)・特にない(0名) 	<p>業務に必要な専門知識や技能の習得、業務の質の向上に役立つ内容であったとのアンケート回答が多数あったことから、受講内容の満足度は高く、十分な教育効果があったと判断できる。</p>
<p>受講生に対する支援について</p>	<p>社会人が計画的に受講できるよう課題等の提出期限や今後の予定を随時メールで連絡し、修了まで支援した。オンラインミーティングは受講生の都合を日程調整して実施し、欠席者には録画を視聴できる環境を整えた。</p> <p>また、特定一般教育給付制度を利用する受講生には提出書類等の案内を行った。</p>	<p>支援体制は妥当と考えられる。</p>
<p>アンケートの実施について</p>	<p>科目ごとに講義アンケート、7月に課題研究事前アンケート、12月に修了生アンケートを実施した。講義アンケートの集計は担当講師にフィードバックし、全てのアンケートから得られた改善点等の意見は運営・評価委員会で検討し、次年度以降に反映させている。</p>	<p>複数のアンケートにより多くの意見を得ることができており、課題を改善できる体制が整っている。</p>
<p>広報活動 (受講生募集・広報)</p>	<p>前年度より秋田県外の関連企業・団体等への案内を増やしたことで県外からの申込は増加したが、2次募集を実施して定員を確保する結果となった。アンケートによりホームページで本スクールを知った受講生が多いことから、今後はエネルギー及びリサイクル関連団体等への広報に力をいれていきたい。</p>	<p>結果的に定員数の申込があり、一定の広報効果を認めるが、今後はこれまで広報していなかった地域への広報について検討したい。</p>